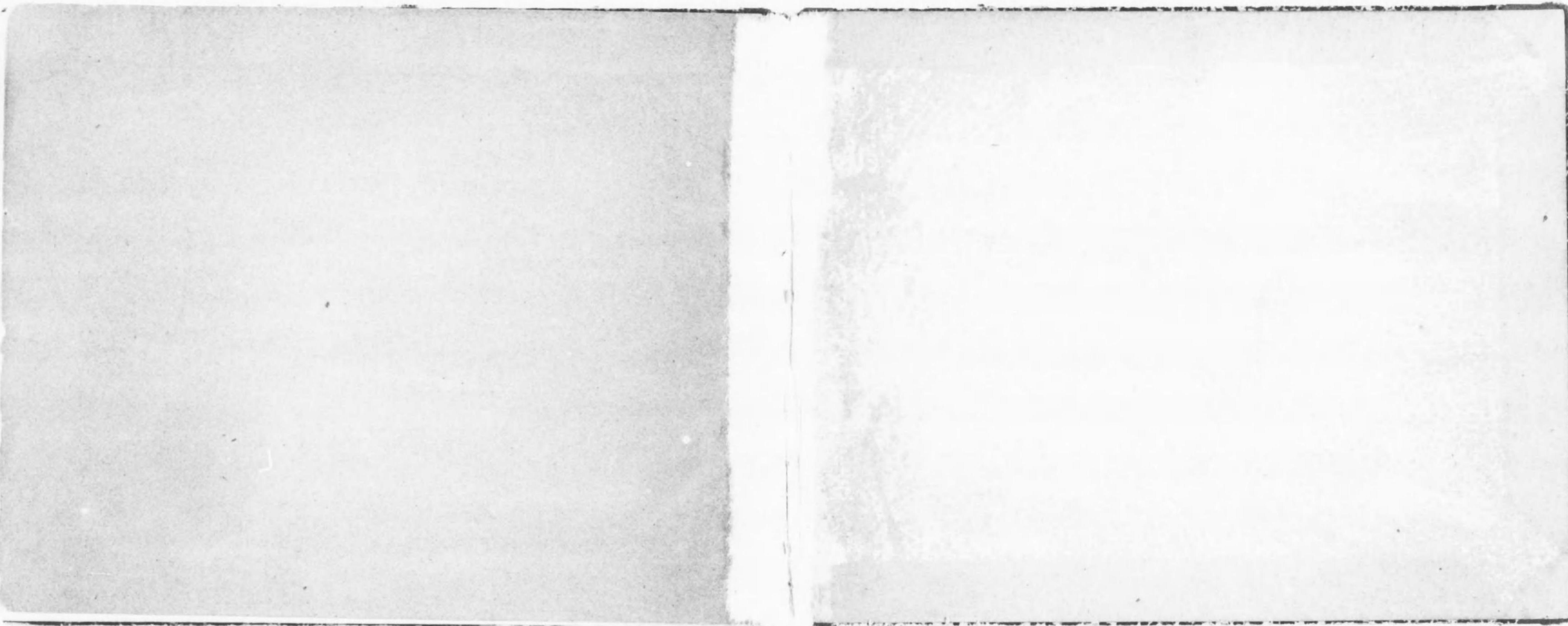




始

→



凡

例

凡

例

一本本地圖は其圖面に罪畫を施し其罪畫に符號を付しあるものなれば索引と相俟つて始めて最も便利に用をなすものなれば索引は最も大切にすべし

一本本地圖に由りて其知らんと欲する場所を捜査するには先づ索引に付て其所在地の符號を見置き次て本圖の符號をたどり見ば直に知るを得べし

(例之ば第五回内國勸業博覽會の所在地を知らんとせば索引に就て公堂公園の部を見「第五回勸業博覽會」は其符號「ち二五」とあるを以て本地圖に就てちの二五の欄を見ば直に知るとを得る也)

一町名は總て其冠文字に由りていろは別とし其所在地の區名は東西南北の順位に由れり

一橋名も亦いろは別とし其河川の上流よりの位置に由れり尙不案内者の便を計り其架橋せる川名を付記せり

一本本地圖の一畫は二町とせるものにして其畫數に依りて距離を知らしむるの便にせり即ち其距離五畫あれば十町と知るべし

一いいろは別假名遣は古法に由らず一般に判かり易きを主とせり

編者識

博覽會紀念

大陽市實測大地圖繪製案內索引

第五回 內園勸業

27

馬全全全博	伊市全岩今	生	今岩全全全全全全全全立	生全系全和泉全全全全	橋	●「い」之部	町
勢町	井野	木崎	北通	賣場南通	玉	四	東
勢之町	町井北	國分南	三四二	六五丁	西高	二一	四
「は」之部	二丁町	二丁區	四二	丁丁丁	西高	二二	五
町町目町	町町目町	町町目町	三四三	丁丁丁	町	一丁	三
ちへははに	い	うつれたよかわれたよわを	二二二	丁丁丁	町	二丁	二
三五四五五	五	ニ七ニニニニニニニニニニ	二二二	丁丁丁	町	二丁	一
○七三三三三			二二二	丁丁丁	町	二丁	四
西西西全全全全全	日本新	全全全全全西道頓場通	西仁西旅八花	八丁目	名		
清通水橋	橋筋瓦	西道頓場通	西高衛津中寺町	中寺町			
二一五四三二一屋	二丁丁丁丁丁丁	六五四三二二五四三二一	西門北通二丁	東	●「に」之部	龍	東寺町
丁町町目目目目目	丁丁丁丁丁丁	丁丁丁丁丁丁丁丁丁丁	西門中寺町	西	いは	北	西
よるぬちちりりりりりへ	丁丁丁丁丁丁	目目目目目目目目目	西門中寺町	西	一三六	龍	園
三五七三一三一〇九八四	丁丁丁丁丁丁	目目目目目目目目	西門中寺町	西	四	北	西
土佐堀通	全德井常盤町	全全全本通田園	西西西全玉川町	全西野田堀	通	西全全全北通	西湘南通
西	西	西	西	西	西	西	西
二丁目	二丁丁丁丁丁丁丁	一三二一丁番町町	四三二一丁丁丁丁	梅梅枝	一草平川	四三一三二一	二丁
わ	目目目目目目目	丁丁丁丁丁丁丁丁	丁丁丁丁丁丁丁丁	寺	之町町町町	丁丁丁丁丁丁	丁
へはへはるるぬりち	丁丁丁丁丁丁	目目目目目目目	丁丁丁丁丁丁丁丁	枝	町町町町	丁丁丁丁丁丁	丁
六	〇〇一一八八八八八	つつつり	はるぬりち	よリリつつりつち	よリリつつりつち	ぬれたよたたよれた	三三三三三三三
全老御	全全全大大大	全雨龍	千	富全全全堂全堂全堂富	問	土全全全	
松町	手手	替造町	年	島島島	島	佐堀	
北	西東通前川	一寺	島	島島島	島島島	北屋	
二丁目	之之二ノ	二丁日町	通北船	三二丁	大工丁丁丁丁	屋	
りち	町町目日町	へはに	年	丁丁丁	丁丁丁丁	南	
四五	いへはにる	二二三	島	町町町	町町町	町	
	八八九九九六	一六	「り」之部	つかをるかるかをれたかをち	つかをるかるかをれたかをち	さ一六	
			「と」之部	一	一四四四四五七六五五三		
			「り」之部	一	六九八八七		

卷之三

卷之三

卷之三



汎 告

弊堂茲に本新式地圖を案出し發賣せんとするに當り、特に市内第一流なる各實業家の位置を地圖上に記入し、以て其所在地を明瞭にし、一般顧客をして一見知了せしむるの便を與へ、一方地方人士をして、廣告詐僞の惡手段に陥るを防遇せしめんと企圖せり、故に本地圖上記入せる各實業家は、常に確實を旨とし、德義を重んじ、勉勵以て、業務を擴張せられつゝある第一流のみを記入せるものにて、假令店舗の大なるも、其信賴するに足らざる處のものは、敢て記入せざるの目的なれば、看る人等に諦とせられんとを

尙本地圖上記載せざる、第一流各實業家は更に第二版に於て追加記入せんとす、

文友堂 大地圖編纂部

特別掲載廣告

(營業いろは順)

醫 院

緒方病院	西區新町三丁目
緒方婦人科病院	東區今宿三丁目
高深澤病院	内浦土庫通五丁目
高安道病院	東區道頓堀三丁目
高安道純一病院	東區道頓堀三丁目
長春病院	内浦土庫通五丁目
尾崎良三郎院	南堀三休橋北詰
川澤眼病院	西福江戸堀北詰
菅原眼科醫院	西福江戸堀北詰
磯野眼科醫院	東福江戸堀二丁目

糸物商

豊田糸店	東區新町三丁目
徳岡廣三郎院	東區新町三丁目
文社	西福江戸堀三丁目

印刷業

三和印刷店	東區新町三丁目
大阪石版合資會社	東區新町二丁目
若林耕文社	西福江戸堀三丁目

有

大阪名所

○大阪の位地　大阪の地たるや攝津國大阪灣頭にありて西南は海に望み他の三面は廣野遠く連れり其廣袤東西一里十四丁にして南北は二里十二丁なり戸數の多きこと十萬の上に達し人口の夥しき

本院に其三面土佐端。安治。木津の河以て、諸病の分氣療法に最も適する。

院主　(英)エム・ル・アル・シーリス
(獨)ドクトル・メデナービー
副院長　外科高安道太郎
内科高安道成
診察時間　午前八時至午後四時
大阪市西區土佐堀五丁目

私立高安道院

こと八十二萬三千餘人に上ばれり市街縱横に亘たり萬瓦軒を並べ豪商富家の多きこと數々に近づく。市内を東西南北の四區に分て、今各地に就きて、一々之を舉ぐれば北には天溝、北の新地、堂島、中之島あり、東には八軒屋、上町、高津等あり、南には難波、新地あり、西には堀江、立賣堀、阿波屋、江の子島、松島、川口等あり、中央部には船場、島之内あり、殊に船場は豪商の居住するもの甚だ多くして殆んど全國の商標は此地に主張せらるゝもの如し。

○大阪の繁榮　大阪は政治の中心にもあらず美術の叢淵にもあらず然れども内外の百貨を吞吐し我國商業界の頭腦を握るもの此地を指して他にあることなかるべし我が安政川口の千艘萬舶は隨つて去れば隨て來り演習の聲煤煙の影甚良絶ゆることなく實に盛なりといふべし此地に榮榮たる寔に久しき以前より一事にして、振洋の國名も萬船の出入百貨の権柄を爲すするものにして、神天皇の御

上 村 重 助 東風通勢町四丁目
電鈴二七八、四丁目 る一〇
窪 田 作 次 郎 東風通者本町四丁目
電鈴三七一八、四丁目 ぬ一〇

子宮丸木舗 末野八木堂 東風唐物町一丁目
電鈴三三三三、一丁目 そ一一
病病丸木舗 藤岡妙雲堂 東風天王寺
電鈴三五六六、一丁目 ほ一一

● 薬 商

● 茼 磨 香 油 商

ゼーマム前神彰榮堂 東風鳥居西四丁目
電鈴一七五六、一丁目 る七

● ハンカチーフ 商

三 田 村 安 治 郎 東風北久安町筋若北
電鈴二九一二、四丁目 り一一
念 松 本 商 店 東風北久安町四丁目
電鈴三六八六、一丁目 る一二

● 花 火 商

河 村 貢 三 郎 北 駄 順 之上町 ち 六

● 保 險 業

日本火災保険株式會社 東風今橋二丁目
電鈴二五五三、一丁目 る七
森 保 险 株 式 會 社 東風今橋一丁目
電鈴三七九四、一丁目 ち七

● 質 計 商

大澤商會大阪支店 東風今橋四丁目
電鈴二七七、四丁目 る七
森 商 店 東風今橋一丁目
電鈴三七九四、一丁目 ち九

● 質 子 原 手 商

大澤商會門野商店 東風今橋三丁目十二番
電鈴二八四一、一丁目 ぬ九

● 辨 譲 士

法學士 加藤 亮 吉 東風今橋二丁目
電鈴二四四、一丁目 り七
村 田 繼 述 東風北久安町三丁目
電鈴二七一、一丁目 わ一四
若 林 治 治 東風北久安町四丁目
電鈴二二〇、一丁目 ど九
山 口 房 五 郎 東風北久安四丁目
電鈴二三四、一丁目 ぬ七
奥 戸 善 之 助 東風北久安五丁目
電鈴二三九九、一丁目 ち八

大澤商會大阪支店 東風今橋二丁目
電鈴二七七、四丁目 る八
森 商 店 東風今橋一丁目
電鈴三七九四、一丁目 ぬ一
大澤商會門野商店 東風今橋三丁目十二番
電鈴二八四一、一丁目 ぬ九
辨 譲 士 東風今橋二丁目
電鈴二四四、一丁目 り七
若 林 治 治 東風北久安町三丁目
電鈴二七一、一丁目 わ一四
山 口 房 五 郎 東風北久安四丁目
電鈴二三四、一丁目 ぬ七
奥 戸 善 之 助 東風北久安五丁目
電鈴二三九九、一丁目 ち八

此國名を付せられしそぞ現時最も殷賑を極むる地は心齋橋筋、高麗橋筋、道頓堀、千日前等にして松島九條近邊は近年繁盛に伴ふて漸次繁盛に起けり
○水道の便利 市中川溝の通するもの頗ぶる多く水運の便利甚だ佳なり隨てまた橋梁夥しく俗に八百八橋、摺す南北に流るゝものを西横堀、東横堀といひ東西に流るゝものを堂島川、土佐堀、江戸堀、京町堀、立賣堀、長堀、堀江、道頓堀等なりとす川口には大阪商船會社ありて汽船の往復頗ふる頗繁なり橋の尤も有名なるものは淀川橋、天神橋、天瀬橋及び高麗橋等なりとす

○浪華名稱の由來 大阪の地を難波津、難波江、或は難波の浦、浪華潟などいへるは日本書紀に神武天皇東國を征し給ふとき船橋相接して難波の崎に到り玉ひしに海潮奔流して甚だ急なりしかば因て浪速の國と名け給ひしといへる説あり此外新敕撰に後京極攝政太政大臣の歌に『なには津に咲くや昔の梅の花今も春なる浦風が吹く』また夫木どいへる書に『おしてるやなにはの國に夏の來て芦の茂りは行く船もなし』といへる藤原伊嗣臣の歌あり或は是等の古歌より出てたるものならむかとの説もあり

○浪華橋 大阪市東區今橋四丁目
電話一七七七
支 店 東京、名古屋、京都、廣島、博多、
出張所 橋本、横須、仙臺、神戶、金澤、長崎、
代理店 是全國及韓國樞要の埠處にあり

○淀川天滿、天神の三大橋 天神橋は大阪有名
貢 本 金 壍 百 萬 圓
普通一般の火災保険

○淀川天滿、天神の三大橋 天神橋は大阪有名
貢 本 金 壍 百 萬 圓
普通一般の火災保険

○御靈社 大阪市東區今橋四丁目
電話一七七七
天照太神を祭り別に建倉橋五郎景政
官幣社にして豊臣秀吉の靈を祭れるものなりと
御靈社にして中島公園の風致を併得せり

○津村御室 本堂は高麗飛瓦造甚だ偉大にして亦對面所あり頗る廣闊なり其他鐘堂鼓樓等
等ありて本派本願寺に属せり本尊は長さ三尺五寸の阿彌陀佛にして安阿彌の作なりといふ其傍に

親鸞聖人聖德太子の像あり現今の寺堂は本願寺第十二代雅如上人之を再建したるものなりと
の門主歎如上人の建立したるものなりといふ規模

の長橋にして長さ百三十一間幅六間にして全体の構造何れも鐵を用る其壯觀實に目を驚かすものあり天溝橋は其結構天神橋に次ぐものにて長さ百十七間幅六間を有し明治二十一年の架設なり淀川橋は昨秋架設したる木橋にして長さ大阪第一の長橋なり
○高麗橋 高麗橋は明治三年の構設にして大阪市中橋の嚆矢たるを以て其名廣く世に知らる中央を大阪府里程元標とす、
○天滿の天神 境内に宋社多くして種々の露店客を呼べ甚方賑はし毎年七月二十五日は本社の祭禮にして神與河を下りて松島の御宿所に渡御あり其賑ひ大阪第一にして燈火波を燒き群衆充瀉し其盛狀紙筆の盡し得べきものにあらず
○浪華橋 長さ九十七間四分あり然れども中央部は中の島東端の地に於て之を支ふるを以て其實二個の橋を合せて云へるものなり夏季は納涼の船橋の近傍に充瀉して燈火水に映じ絶景地に過ぎ其賑ひ京都四條畷の納涼に於けるが如し
○中の島公園 中の島の東端樹木影を成し翠柳烟を罩め東屋あり池あり池中に高く石を疊みて湧水を設け此地に至るものをして藤橋を裏かならしむるもの足は即ち中の島公園の光景なりとす園中別に老樹奇石などいへども松並み柳あり藤柳あり夜に入れば三個の電燈塔要する樹影を地に印して白晝を給くあり其他公會堂園亭等の轟々として高く峙つたり市中風景に富むる地は先づ指て此地に屈せざるを得ず
○豐國神社 明治十三年の創立にかゝれり別格官幣社にして豊臣秀吉の靈を祭れるものなりと
御靈社にして中島公園の風致を併得せり
○難波御室 天照太神を祭り別に建倉橋五郎景政
官幣社にして安阿彌の作なりといふ其傍に
親鸞聖人聖德太子の像あり現今の寺堂は本願寺第十二代雅如上人之を再建したるものなりと
の門主歎如上人の建立したるものなりといふ規模

特許代理業

岡田謙二郎
堤他
香料前田松三郎
戸橋木商會出張店

外村定治郎
高木又次郎
芳雲館支店
島田豊支店

の宏壯なることの御堂に進む事東の門を四つ足
門と稱し本尊は安阿彌作の同御院佛なり境内に數
種よりて高く屹立しまり

香料前田松三郎
戸橋木商會出張店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絕ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

貢輸出入商

香料前田松三郎
戸橋木商會出張店

の宏壯なることの御堂に進む事東の門を四つ足
門と稱し本尊は安阿彌作の同御院佛なり境内に數
種よりて高く屹立しまり

縫織吳歌商

外村定治郎
高木又次郎
芳雲館支店
島田豊支店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

縫織吳歌商

外村定治郎
高木又次郎
芳雲館支店
島田豊支店

の宏壯なることの御堂に進む事東の門を四つ足
門と稱し本尊は安阿彌作の同御院佛なり境内に數
種よりて高く屹立しまり

兩晉商

外村定治郎
高木又次郎
芳雲館支店
島田豊支店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

旅館

外村定治郎
高木又次郎
芳雲館支店
島田豊支店

の宏壯なることの御堂に進む事東の門を四つ足
門と稱し本尊は安阿彌作の同御院佛なり境内に數
種よりて高く屹立しまり

歐米雜貨商

岡田商會
中支商店
廣瀬雜貨店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

白粉商店

小野安次郎
合名瀬川商店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

和紙商店

合名瀬川商店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

海連業

大家七平本店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

火薬商店

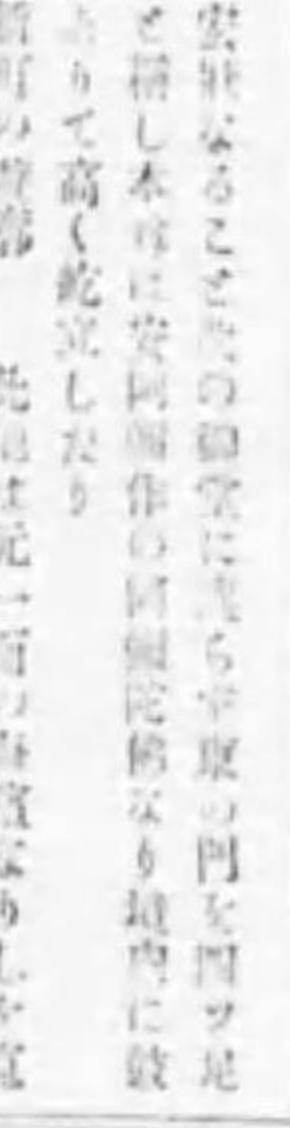
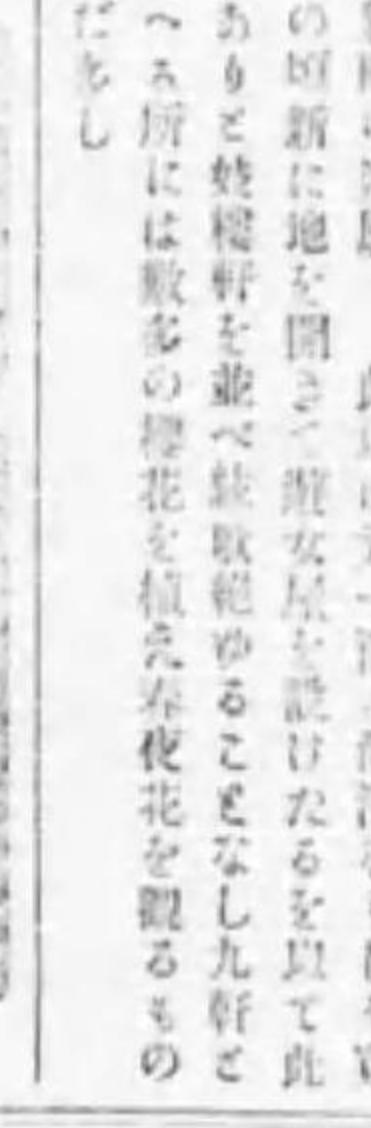
野原林之助
梅原龜七木店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し

金场商

大澤商會大阪支店

○新町の摩耶山此地は元一百の春深なりしを寛
永の頃新に地を開きて遊女屋を設けたるを以て此
名ありと妓樓野を並べ妓歌絶ゆることなし九軒と
云ふ所には數多の櫻花を植え春夜花を觀るもの
甚だ多し



六月廿日(土)午後二時より明治会場内会場

寺川閣成黄告

上方販賣部可ならず不拘地主者免

梅原龜吉(西門町一丁目)九十七

歌子商

松原春吉(西門町五丁目)九十九

利通見支店(西門町四丁目)九十三

歌弄物商

山中商店(東區北堀江一丁目)九十一

河村寅三郎(北堀江之上町)九一

ガラスランプ及製造業

アマヤラカス館(西門町二丁目)九二

羽田屋伊藤萬商店(西門町四丁目)九一

看板製作商

中許ヤラカス館(西門町二丁目)九一

羽田屋伊藤萬商店(西門町四丁目)九一

洋菓子商

アマヤラカス館(西門町二丁目)九一

羽田屋伊藤萬商店(西門町四丁目)九一

洋酒商

小西儀助(西門町二丁目)九一

アマヤラカス館(西門町四丁目)九一

洋食粉品商

アマヤラカス館(西門町二丁目)九一

洋傘商店

アマヤラカス館(西門町二丁目)九一

吉田洋紙店(西門町二丁目)九一

中井商店支店(西門町二丁目)九一

博進舎支店(西門町二丁目)九一

三和商店(西門町二丁目)九一

六島發三郎(東區本町三丁目)九一〇

中村市太郎(東區安土町四丁目)九一〇

六島發三郎(東區本町三丁目)九一〇

吉田洋紙店(東區安土町四丁目)九一〇

中井商店支店(西門町二丁目)九一〇

六島發三郎(東區安土町四丁目)九一〇

其繁盛なること多く道頃場に現らす法善寺、自安寺、新金毘羅社等此近傍にあり。○高津神社、本社は元東成郡比賣古曾神社の内にありしを天正十一年之を移したるものなりと云ふ仁徳天皇、仲哀天皇、應仁天皇、神功皇后、履仲天皇を祀りたるものにして地高く俗塵を脱し人をして神威の高きを感せしむ社側に御草あり此所より遙かに眺望すれば諸都の光景指顧の間に落ち雲烟漠々たるの所に億萬萬陸恰も海岸の波濤のごとし氣爽かに心行き停回願望して去ること能はさらしむ。

高津の宮

權中納言長方

○露天神 傳へ言ふ昔原道實公筑紫へ流さる、や福島より上陸して此地を過ぎ『露を散る涙に袖は初にけり都のことを思ひ出れば』と一首の和歌を詠じられるより露天神の名ありと。

露天神

紀貫之

○太融寺 弘仁の頃弘法大師之を開く其頃は桂木寺と稱したりしが其後左大臣源融公之を修補して今之の名に改めたり本尊には千手觀音を安置し又毘沙門天像有り大師堂は本堂の西に在りて弘法大師の像を藏めたり境内に藤花あり。

太融寺

北區天満橋筋の北、豊崎村大字南長

捕といふ所にあり延享年間忍鏡上人之を再興したものにて慈覺大師の阿彌陀佛を安置し又觀音堂ありて護體所の觀音佛を安置し之を百駕觀音といふ此寺にある古き梵鐘は毛利家の寄附したものなりと又糸櫻を以て有名なり。

福島天神社

上中下の三社ありて上の天神

○野田の藤花 有名なる藤花の名所なり花時に至れば遊客此地に花を観るもの多く文祿年間豊臣秀吉來りて此藤花を觀たること有り藤の庭は當時島なりと答へたり公不祥の名と爲し之を福島と改めしめたりと。

野田の藤

將軍義詮

○天王寺 有名なる古刹にして荒陵山と稱し天台宗に屬す用明天皇の御宇に佛教を我邦に弘んとして聖德太子四天王寺を創建せられたるは世人の普く知る所なるが其地域東西八町南北六町にして本門は東にあり入口に石の華表あり門を経て樓門を入れば五層の高塔は乾として雲際に聳え其北に金堂あり此中に本尊如意輪觀音あり其他彌勒佛四天王、波羅門等あり講堂其北にあり古ヘ聖徳太子の經を講せられし所といふ堂の北には無常院の古梵鐘あり鰐首殿々信者をして邪念を拂はしむるものゝ如し六時堂といへる堂の前に一池あり池上に切石を敷きて舞臺を造れりこれ昔し坐靈會の時伶人の舞樂したる所なりといふ六時堂に傳教大師が比叡山の根本中堂を摸して造りたるものといふ又太子堂あり聖徳太子の像を安置せり其他輪轉堂三昧堂、皇后の宮、龜井の水等ありて彼岸會八月の千日等には參詣者の多きこと言語に絶す境内廣きを以て其中に公園を設け多くの櫻を植え茶店等其所にありて遊覧者の休憩に供せり

天王寺(津州) 條根玲瓏觀音

寶塔形成就供養

佛語 千吉

金剛界明度

持

茶臼山 天王寺を距る數丁西南に當りて松樹

煙草商店

岩谷商會支店 電特四六〇、一丁目 巻八

子ル商店

生駒權七商店 東區道修町五丁目 巻八

羅紗商店

豊田絨店 電車二五七、一丁目 ち九

ランブバ商店

岡本定之助 電車三七〇、一丁目 ち九

逸見支店

電影劇場中 東區高橋町四丁目 巻一三

菓子商店

水大黒 小林林之助 電車二八一、一丁目 た一四

靴商店

風月堂 橋谷五郎 電車三七〇、一丁目 ぬ七

土井靴店

電影劇場中 東區阿波座一番 巻か一

菓種商店

前田松三郎 電車三七三、一丁目 ぬ八

物品販賣業

大家七平木店 電特三七一、一丁目 ち一七

袋物商店

松田久兵衛 電特三七一、二丁目 る九

小倉帶地商店

外村與左衛門 電特三七一、二丁目 ち一〇

吳服太物商

德岡作兵衛 電特三七一、二丁目 ぬ一一

佐藤支店

電特三七一、二丁目 る一〇

新豎たる丘陵よりて綠翠溌々とすこれ昔し真田幸村が徳川の兵と戦ひて名譽の戰死を遂げたる所にして之を茶臼山といふ今は岩崎家の買収する所となりて常人の入るを許さず其東南に邦福寺あり雲水と呼べり庭園風致に富み春夏秋冬雅人の遊賞するもの渺からず此内に價廉にして清味なる普茶料理を出せり

○一心寺 茶臼山の北にありて圓光大師の開基に係れり境内に二階堂三千佛堂、御影堂あり、此寺に元和元年天王寺にて戰死したる本多忠朝の墓は十一面の千手觀音にして聖德太子の作なり

一の寺

棲白河津島

新清水寺 一心寺を距ること四丁にして一面高く懸屋の上に望めり近く大阪全市を双眸の中に收め遠く渺茫たる淡路島を認むることを得。●本尊は一面の千手觀音にして聖德太子の作なり

○夕陽ヶ岡

新清水

新清水東北に距ること二丁の所にありて風景亦頗る佳なり岡上に藤原家隆卿の墳あり其東にある夕陽庵は卿が生前の舊居なりといふ庵の南に勝豪院といへるありて愛染明王を安置せり

○陸尊寺の櫻 境内に絲櫻多きを以て有名なり

わがよりな氣みづ風のいと櫻

○生魂神社 官幣大社にして生國魂足國魂の二神を祭り大物主命を合祀祀れり創立の年月詳かならず現今之の社殿は慶長のはじめ豐臣秀吉大阪城を築くや片桐且元を奉行として大に修繕を加へたり

土地高燥にして社殿整造たり境内より眺望すれば煤烟蒸漠たるの間に大阪市中萬戸の豪波の如きを見ゆ遠くは淡路の青嶺、播磨の翠峰眼界を遮りて風景類ぶる佳なり此地亦櫻樹を植むること多く春雪雅俗を論せず遊覧する者難否せり之を生魂の夜桜といふ

○桃山と梅屋敷 小橋町の近傍にある桃山にして毎年花時に至れば遊覽者頗る多し

○櫻の宮 皇太神宮を祀る社は淀川の東岸にありて堤上櫻樹を植へ花時に至れば遊覽するもの甚だ多く川を隔てて電幣局を望み東南遠く開けて田野の景人目を樂ましむるに足れり

咲からに見るやらに花のちるやらに

丸貫



岡田謙二郎 電東一八三九、二丁目 り七

倉田木綿店 電東一八四五、五丁目 る七

手拭商店

命岡田與八 電東二一三一、五丁目 む一〇

三田村安治郎 電東九一二、六丁目 り一

荒物商店

河村寅三郎 北區橋之上町 ち六

銀行業

百三十銀行 電東一八九〇、五丁目 む七

百三十銀行南支店 電東二一三一、六丁目 る二

百三十銀行 電東一九五〇、四丁目 る一

百三十銀行 電東一九五〇、五丁目 る一

金庫商店

播本金庫店 電西一八五、一丁目 つ一一

メリヤス商店

愈松木千代藏 電西三六八六、四丁目 る一

銚碗商店

梅原龜七本店 電西一〇四三、四丁目 る九

自轉車商店

梅原龜七本店 電西八一六、三丁目 カ九

書藉商店

獨立軒若林耕 電西八一六、二丁目 る九

大阪市官浦大通筋付近
新築案内表

歐米自轉車

品局附并入輸直



梅原龜七本店 門司東町本一丁目 特電西八八八番

橋本商店 門司東町本一丁目 特電西一五六番

大阪出張店 門司東町本一丁目 特電西八八八番

九州支店 門司東町本一丁目 特電西八八八番

貴金属製作商

株式会社十二銀行大阪支店 電東一八九〇、四丁目 む九

株式会社大阪實業銀行 電西二五六、四丁目 た一三

淡路貯金銀行支店 電西一四二一、一丁目 わ一九

株式会社第百四十七銀行 電西四四七、五丁目 た一三

小谷書店 東區御器後町四丁目
石塚松雲堂 東區安土町四丁目
山本文友堂 東區瓦町五丁目

中村市太郎 廣東六、當信路ナカ一
毛布商

岡橋木綿店 東區船越町一丁目
天村西茂商店 東區本町二丁目
倉田木綿店 東區伏見町五丁目

木綿商

堀野洋家具商會 東區上通二丁目
西洋家具商會 東區京町通二丁目

洋家具商

堀野洋家具商會 東區上通二丁目
西洋家具商會 東區京町通二丁目

洋家具商

中庄スダレ商會 南區東清木町三
無任
西洋家具商會 東區西二五九

蘆乘商

堀野洋家具商會 東區上通二丁目
西洋家具商會 東區京町通二丁目

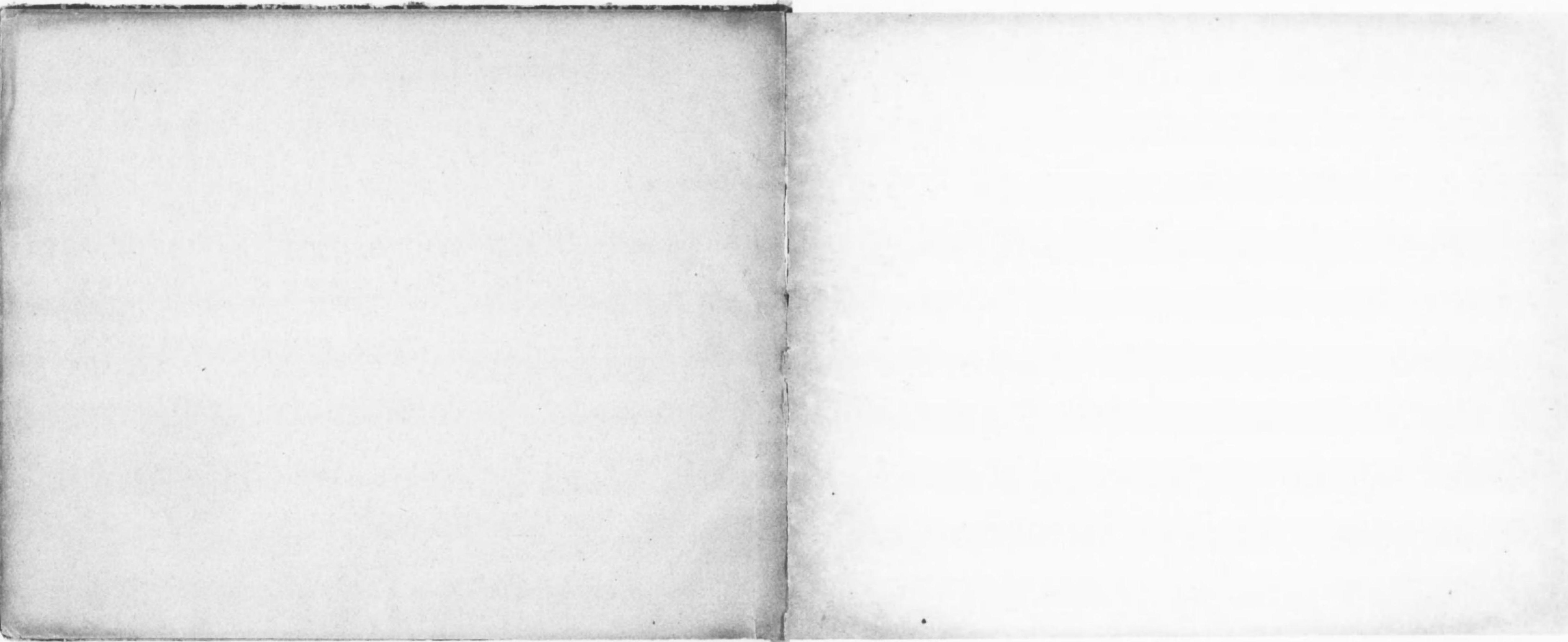
西洋家具商



明治廿五年十二月廿日印刷
明治廿六年一月一日發行

大坂市東區心齋橋通瓦町四
發行所 山本文完

三



○營業品課目

- 間似合紙類
- 太平紙千年紙類
- 片號洋地模樣物
- 襖一枚張り洋紙類
- 專賣襖紙類
- 襖一枚張り更紗類
- 五枚張り石目類
- 襖紙地裏打附卷襖物
- 十枚張り唐紙類
- 十二枚張り唐紙類
- 花紙萌黃仙
- 金銀紙及金紋紙
- 清國渡紙類
- 模樣物一種々
- 半紙半切類
- 小間紙類一切
- 榛原製一枚張

大阪市東區備後町二丁目三十二番邸

小野安次郎

電話特東六百十二番



玄鶴堂

年新賀謹

89
46

終

